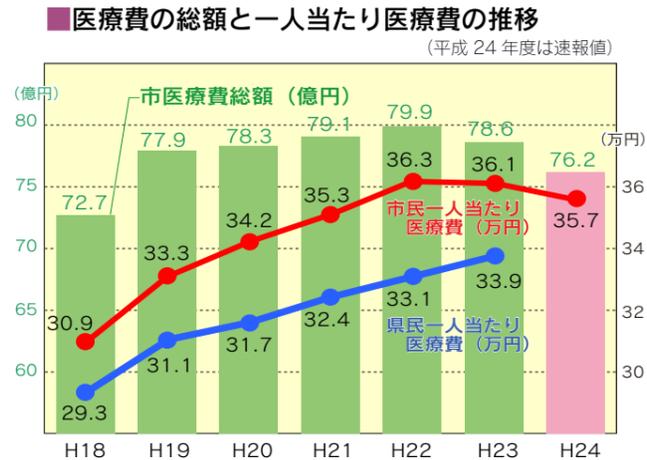


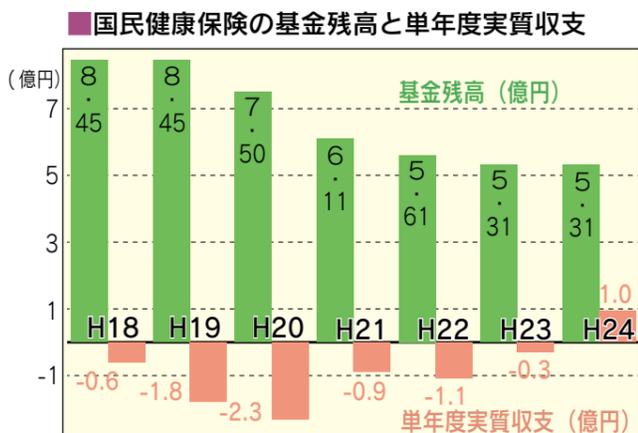
# 日ごろの健康管理と 早めの受診で医療費の節約を

**24年度は国保の収支が改善  
基金取り崩しに歯止めがかかる**

市国民健康保険（国保）は病气やけがをしたときに、医療費の個人負担を減らし、安心して医療機関へ受診するための制度です。国保に加入している人は、一般的に医療費のうち3割を医療機関の窓口で支払い、残りの7割を市が支払う医療費は、平成22年度の



約79億9千万円をピークに、以降の2年間連続して減少しています。これにより市の国保財政は、24年度実質単年度収支が9億28万円の黒字となるなど、改善の傾向にあります。また基金についても、17年度末には約8億4461万円あった基金積立金が、23年度末には約5億3105万円と年々減り続けていました。これは、収入よりも支出の方が多かったため、積み立てていた基金を取り崩



して不足分を補ってきたからです。ただし、24年度は黒字決算のため、取り崩す必要がない状況となっています。収支が改善した要因は、医療費がここ数年減少していることや、市国保の医療費抑制の成果が認められ、県からの交付金が多く交付されたことが大きく影響しています。今後、市国保では関係機関と連携を図りながら、医療費の抑制に向けた対策を実施します。皆さんには、引き続きがん検診や特定健診を受診していただき、病気になったと思われるときは、早めに医療機関を受診するなどして医療費の抑制にご協力ください。

また、市の一人当たりの年間医療費は、県平均値を常に上回っていて、24年度の一人当たりの年間医療費は35万6999円でした。医療費が増えると、市国保の財政も厳しくなりますが、加入者の一部負担金が増え、家計を圧迫したり国保税が高くなったりするなど、加入者の負担増にもつながります。

**一人当たりの医療費は依然県平均を上回る**  
市の国保財政を支えているのは、加入している人が納める国保税と、国や県から支払われる支出金や補助金、市の一般会計から支払われる繰入金などです。国保税は、収入全体のおよそ2割を占める重要な財源のひとつです。一方の支出は、そのほとんどが医療機関に支払う医療費で、24年度の患者負担を含めた総医療費は76億1859万円でした。23年度に比べると約2億4085万円少なくな

り、2年連続で減少しました。しかし、今後高齢化や医療技術の高度化による医療費の高額化、生活習慣病の増加などが原因で医療費が増える可能性があります。大切なことは、日ごろの健康管理と病気の早期発見、早期治療です。次のことを参考に、健康づくりを進めましょう。  
▽特定健康診査などを受診し、年に一度は健康チェックをする  
▽かかりつけ医、かかりつけ薬局を持つ  
▽薬は用量や用法を理解し正しく使う  
▽ジェネリック医薬品を活用する  
問い合わせは、市健康づくり課国民健康保険係（☎77・8506）まで。

## プラスチック類のごみは透明の資源物専用指定袋へ

### 資源物専用指定袋は、便利でお得

市は昨年、カップやパック、トレイなどのプラスチック製容器包装とペットボトルの分別収集を行っています。

市は昨年、カップやパック、トレイなどのプラスチック製容器包装とペットボトルの分別収集を行っています。資源物専用指定袋の容量は、50リットルで、青色の指定ごみ袋（大）より20リットルも大きくなっています。また、丈夫で破れにくく、持ち手がついていて持ち運びやすくなっています。しかも、価格は現在の指定ごみ袋（大）と同じ1枚20円です。環境にも財布にも優しい透明の資源物専用指定袋を積極的に活用してください。



## 資源物専用指定袋

### プラスチック製容器包装

食品や洗剤が入っていた容器は軽く水洗いして出してください



回収は月2回（第1・第3日曜）

プラスチック類とペットボトルは別々の袋に入れてください

### ペットボトル



※ペットボトルの収集は地域によって収集日が違います

回収は月1回（第1か第3日曜）

### 不法投棄はしないさせない

水路敷や道路脇など人目に付きにくい場所への不法投棄が後を絶ちません。市は、定期的に巡回パトロールを行い、防止に努めています。

不法投棄は周りの景観を損ねるだけでなく、環境への影響も考えられます。一人一人が不法投棄を「しない」「させない」の考えを持ち、市民の皆さんで地域の環境を守っていきましょう。

不法投棄は犯罪です。法律で5年以下の懲役または1000万円以下の罰金に処せられます。

問い合わせは、市生活環境課（☎77・8485）まで。